

親日国家トルコの経済を支えるものは？

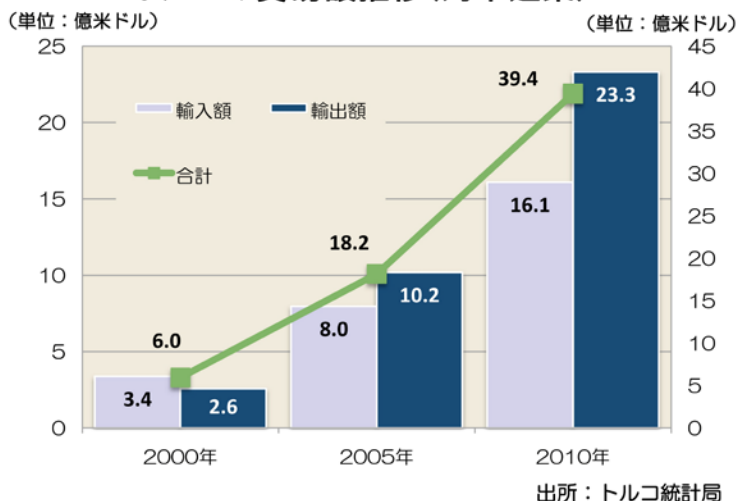
地中海の東端にあるトルコは、世界でも有数の親日国家です。きっかけは、1890年に和歌山県大島村沖で発生したトルコの軍艦エルトゥール号の沈没でした。このとき地元の漁民が献身的な救護活動を行い、多くの乗組員を助けています。

それ以来トルコと日本は、親密な関係を保ってきました。2010年には「トルコにおける日本年」と称し、さまざまな文化交流が催されました。現在は日本の開発援助を受け、共同でトルコのインフラ整備を行っています。

このトルコが近年、新たな経済成長国として注目されています。その理由のひとつが、恵まれたロケーションです。トルコは欧州、アジア、中東、アフリカの間に位置しており、この周辺国だけでも15億人の市場があると言われています。歴史的にも「欧州とアジアの架け橋」の役割を果たしてきたトルコですが、これら周辺国の需要を取り込むことで、成長を加速させていくと思われます。すでにトルコの近隣諸国である中近東との2010年における貿易額は、2000年と比べて約6.6倍に拡大しました。また、主要な輸出品目にも変化が見られます。かつては、主産業である繊維製品が輸出品の根幹でしたが、近年では、自動車や家電製品などの工業製品が主力となり、トルコの輸出額を大きく伸ばしています。

トルコは、こうした恵まれたロケーションによる経済発展を軸に、内需も拡大しつつあります。今後の経済成長への期待は、ますます高まっていきそうです。

トルコの貿易額推移(対中近東)



魅力的なトルコのロケーション

